

研究課題名	脳血管疾患の再発に対する高脂血症治療薬 HMG-CoA 還元酵素阻害薬の予防効果の遺伝子背景に関する研究 –J-STARS Genomics–
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科学 教授 丸山 博文
研究期間	実施許可日 ~ 2028 年 3 月 31 日
対象者	広島大学病院において、受診している脳梗塞患者さんのうち、本研究（E2010-9945, ヒ-45）において、研究の説明を受け、文書にて同意いただいた方。
意義・目的	脳梗塞の再発予防に HMG-CoA 還元酵素阻害薬（スタチン）が有効であることは海外ではすでに証明されており、多くのエビデンスがあります。本邦においても我々が行った J-STARS 研究において非心原性脳梗塞患者のアテローム血栓性脳梗塞の再発予防効果に有効性があることが証明されました。しかしながらスタチンの有効性の差異など遺伝子背景における影響は多様性が示唆されています。本研究は非心原性脳梗塞再発予防におけるスタチンの効果と遺伝子の関係性について調査することを目的としています。
方法	本研究は J-STARS 研究に参加していただいた患者さんを対象にしています。同意が得られた患者さんから血液を採取し、SRL 社の「遺伝子・染色体解析センター」にてゲノム DNA を抽出します。抽出した DNA は広島大学に輸送され保存します。広島大学に保存した DNA は必要に応じて共同研究機関（株式会社サインポスト、九州大学、国立循環器病研究センターなど）に輸送され SNP 解析を行います。SNP 解析の結果は血液検査所見、頸動脈エコー所見、MRI 所見との関連を横断的に調査し、スタチン投与例と非投与例における脳卒中再発の有無についての影響を検討します。なお、本研究は患者情報は匿名化され情報の漏洩防止に努め本研究によって個人が特定されることはありません。
共同研究機関	<p>研究の実施体制</p> <p>研究代表者 広島大学病院脳神経内科 教授 丸山 博文（機関の長：田中 純子）</p> <p>共同研究機関</p> <ul style="list-style-type: none"> 株式会社サインポスト（山崎義光） 九州大学（北園孝成） 医療イノベーション推進センター（菊池 隆） 国立循環器病研究センター（豊田一則） 大阪大学（岡崎 周平） その他 J-STARS 研究参加施設
試料・情報の管理責任者	広島大学 教授 丸山 博文
個人情報の保護について	

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5201

広島大学病院 脳神経内科 講師 柘津智久